

オホーツクの風

発行所

北見赤十字病院の
明日を考え支援する会

事務局

北見市緑ヶ丘1-10-16
Tel 0157-61-0684

令和5年11月29日(水) 0029号

医師事務作業補助者

医師の事務処理を軽減・働き方改革に貢献

今年6月、北見赤十字病院・循環器内科外来でペースメーカーの電池交換の診療を受けた。担当の医師や看護師と同居するペーパーミントグリーン色の制服の女性職員の方が医師の診察と連動してプリントアウトなどの事務作業や当方への声かけなどを行っていた。この方が今回取材する医師事務作業補助者で、同院ではメディカルクラーク（略してMC）と呼ばれている。



定例会議 メンバーが議論を展開

今年6月、北見赤十字病院・循環器内科外来でペースメーカーの電池交換の診療を受けた。担当の医師や看護師と同居するペーパーミントグリーン色の制服の女性職員の方が医師の診察と連動してプリントアウトなどの事務作業や当方への声かけなどを行っていた。この方が今回取材する医師事務作業補助者で、同院ではメディカルクラーク（略してMC）と呼ばれている。

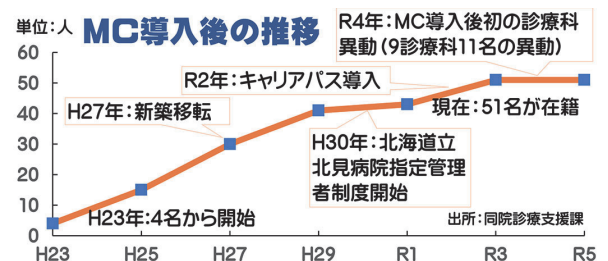
現在、同課の総勢は52名にまで発展している。課長、3名の係長など管理部門が12名、内科・整形外科・循環器内科・消化器内科の他16の外来診療と道立北見病院各科の現場に40名のMCが配属されている。同課の定例会議は



MC研修会 研鑽や協議などでMC全員が集う

主事やリーダーが参加し、毎月2回開催される、各科の課題・医師の負担軽減について検討され、月に1回開催されるMC研修会で全員に周知される。MC導入後の同課の推移を第2診療支援係長が作成した図表で振り返ると、▽

平成27年、新病院移転新築 ▽令和2年、キャリアパスの導入 ▽令和4年、MC導入後は初の診療科異動（9科11名）など確実に歴史を積み重ねている。同課には3名の係長がいて、〇タスクシフティング（医師の事務処理を回避する取り組みで、医師以外でも行う事が可能な業務をMCに移管すること）の調査や実施〇主任・リーダーの指導や伝達その他多くの業務を行っている。



また同課には業務マニュアルが整備されていて内科のMC業務マニュアルを閲覧させて戴いた。始めに外来担当の医師の一週間単位の勤務表があり、診療支援・診察予約・検査予約や説明・入院説明・スキャン・カルテチェックその外の項目ごとに詳細に親切に記述されている。作成は平成29年で現在まで9回もの改訂が行われている。この内科のマニュアルは25ページの冊子になっている。これと同じようなマニュアルが16の外来診療科ごとに作成されていてその総ページ数500ページにも及ぶ。

同院の外来診療部門では、各科の医師の専門的指導や暖かい協力と気配りのある優しいMCのコミュニケーションで効率的で素晴らしいチーム医療の大輪の花を咲かせている。